

令和2年度第1回南知多町総合教育会議 議事録

開閉会の日時	令和2年10月27日(火) 午後3時30分 開会 午後5時26分 閉会
開催場所	南知多町役場 講義室
出席した構成員	石黒和彦町長 高橋篤教育長、池戸義久教育長職務代理者、坂口薫史教育委員、 折戸良直教育委員、日比淳子教育委員、吉原知味教育委員
説明のため出席した職員	田中嘉久企画部長、鈴木茂夫企画部長、鈴木淳二建設経済部長 山下雅弘教育部長、石黒俊光学校教育課長、中村浩二指導主事
会議日程	別紙のとおり
会議の経過	別紙のとおり
傍聴人	3人

## (別紙)

### 令和2年度第1回南知多町総合教育会議 会議日程

日 時 令和2年10月27日(火)  
午後3時～

場 所 南知多町役場 講義室

#### 1 町長あいさつ

#### 2 協議・調整事項

(1) 南知多町立小中学校規模適正化懇談会の結果報告について(資料1)

(2) 小中学校の適正配置に関する保護者意見交換会の結果報告について  
(資料2)

(3) 南知多町立小中学校適正規模・適正配置基本計画(案)について  
(資料3)

(4) その他

#### 3 閉会

発 言 者	発 言 内 容
<p>事務局 (山下教育部長)</p> <p>石黒町長</p>	<p>只今から令和2年度第1回総合教育会議を開会致します。進行を勤めます、教育部長の山下です。よろしくお願ひします。まず初めに、町長よりあいさつをお願ひします。</p> <p>本日は、南知多町総合教育会議を招集いたしましたところ、教育委員の皆様におかれましては、ご多用の中、ご出席いただきありがとうございます。また、日頃から本町の教育の充実のためにご尽力を賜り、心から感謝申し上げます。さて、小中学校の適正規模適正配置につきましては、平成31年1月に開催した平成30年度第2回総合教育会議におきまして、学校規模の適正化に関する基本的な考え方及びその検討スケジュールについて、協議・調整を図りました。それに基づき、教育委員会では、令和元年7月及び8月に保護者と教職員からアンケートを行い、同年10月から11月にかけて町内5地区で、住民を対象とした意見交換会を開催いたしました。</p> <p>また、令和元年度に開催いたしました2回の総合教育会議では、意見交換会の結果や今後の進め方について協議を行い、方向性等を確認してまいりました。</p> <p>そこで確認されました進め方に基づき、今年度、教育委員会では、南知多町立小中学校規模適正化懇談会を開催し、教育委員の皆様や私もオブザーバーとして参加いたしましたところでは、</p> <p>本日は、南知多町立小中学校適正規模・適正配置基本計画(案)を議題としております。教育委員の皆様には忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます、私から のあいさつとさせていただきます。</p>
<p>事務局 (山下教育部長)</p> <p>石黒町長</p>	<p>続きまして、協議事項に入ります。南知多町総合教育会議設置要綱第4条第1項の規定により、町長のもとで議事の進行をお願いいたします。よろしくお願ひします。</p> <p>それでは、進行していきたいと思ひますので、皆様のご協力をよろしくお願ひします。では、早速、協議・調整事項に入らせていただきます。</p> <p>まず、「(1)「南知多町立小中学校規模適正化懇談会の結果報告について」、事務局の説明を求めます。</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局 (山下教育部長)	(資料に基づいて説明した。)
石黒町長	事務局の説明が終わりました。 ただいまの事務局からの報告について、ご意見ご質問等ありましたらお願いします。
石黒町長	(質問、意見なし) ご質問等もないようですので、次に移ります。「(2) 小中学校の適正配置に関する保護者意見交換会の結果報告について」、事務局の説明を求めます。
石黒町長	(資料に基づいて説明した。) 只今は、保護者意見交換会の結果報告でございます。これにつきまして、ご意見ご質問等ございませんか。 一つ確認で、豊浜地区の意見のまとめで、2中に統合という意見は半島側の3中を2中に統合ということでよいのか。
事務局 (山下教育部長)	はい、そうです。
石黒町長	ご質問等もないようですので、次に移ります。「(3) 南知多町立小中学校適正規模・適正配置基本計画(案)について」、事務局の説明を求めます。
事務局 (山下教育部長)	(資料に基づいて、南知多町立小中学校適正規模・適正配置基本計画(案)について説明した。)
石黒町長	基本計画の案が原案として示されました。 ただいまの事務局からの説明について、ご意見ご質問等ありましたらお願いします。その前に、今、部長の説明した中で何か確認することはございませんか、

発 言 者	発 言 内 容
石黒町長	<p>聞いていただいた上での議論をすればいいかなと思います。 皆さん、確認することはございませんか。</p> <p>(意見、質問なし)</p>
坂口委員	<p>それでは、それも併せました中身について、ご意見ご質問はありませんか。</p> <p>中学校統合について、これ以前の素案では令和4年でありましたけど、各地区の意見を聴くと早すぎるというのがありました。各地区の意見は自分のところから学校を無くすのは嫌だという意見がほとんどだと思います。自分も日間賀島ですけれど、自分のところから学校が無くなるのは大変反対したいところですが、人口が減っていくのは数字で見ても明らかなので、自分のところから学校が無くなることより、例えばその学校に同級生が1人2人で通わせられるのか、そっちの方が逆に過疎化が進んでいくのではないかと思う。その1中構想をする時点で、現段階の内海中、豊浜中にどちらかに移るということであると、内海の方は内海に、豊浜の方は豊浜にと思うだろうし、内海になった場合は、師崎地区では人が町から出ていくのではないか、逆に、豊浜になった場合は、内海の地区の人からも自分の地域のところではない学校に通うのであったら、他の地域へ移ろうかということになりそうである。知多半島5市5町で南知多町が一番人口が少ないが流出していく人口は南知多町が一番多いという結果を拝見しました。住みやすい町にして人口を増やすために、みんなが納得できるくらいの新設校を、新しい学校を是非つくってほしい。その新しい学校へ移動するのであれば、どの地域でも、絶対賛成にはならないかもしれないけれども、しぶしぶ賛成かもしれないけれども、豊浜や内海に行くよりは、新設校になった方が、日間賀島地区からもそのときは賛成の声も上がるのではないかと思う。是非、新設校をつくって、その上で魅力ある学校にして、他の地域から人が集まってこれる南知多町にして欲しい。自分も住んでいて不安だらけで、例えば自分の子どもたちに自信を持って「南知多町に残って住んでいけ」と言えるでしょうか。本当に自分の子どもたちに自信を持って南知多町に住んでいけと言えるような、そういう素晴らしい地域をつくるための、第一歩として新設校をつくってそこに集まるような形にしたら、そして授業の内容もこういう南知多町を生かした、少し特色のある、変わった、魅力ある授業体系をつくって、本当に人を呼び込む。予算の問題もありますけれども、できれば10年か15年の間に、決定事項で進めていかないといけない。この場であやふやだと、ここにいるみんなが入れ替わったときに、またゼロからの出発になる。そうなるとうちに1中構想が消えてしまうような気がする。消えてしまったら本当にまちが寂れていって南知多町が無くなるんじゃないかと思う。この先ずっと、何十年も何百年も南知多町が存続するために、新しい学校をつくって、</p>

発 言 者	発 言 内 容
石黒町長	<p>より魅力のある町にしていきたいと思っています。</p> <p>今の提案、ご意見は、第4章の中に、第2段階で、内容については新校舎というのが初めて謳ってあるのですが、それに何かもっと記述として付け加えて方がよいのご意見ですか。ここにこれがかかれていることについて、一刻も早く向かうようにということか、それとも具体的に、年度はある程度決めるべきではないかとというような内容の意見でしょうか。</p>
坂口委員	<p>それもあります。年度を決めた方が、それに向ってすすんでいきやすいと思います。</p>
池戸委員	<p>令和4年度に小学校も中学校も統合ということで、以前の素案で聞いていましたので、その時点での私の意見、考えをまとめてきましたのでご説明します。資料をご覧ください。小学校についてですが、各学校60人の児童となったときに統合を検討していくということで、内海小と山海小、その前に豊浜小と豊丘小を統合してきました。現在、師崎小と大井小ということで、統合にむけて話がすすんでおります。その統合場所について、大井小と師崎小の統合は既存の師崎中学校に、師崎小学校という名称での開校でよいのではと思っています。大きな理由の一つは、それぞれの住民の方の心情を考えると中間位置である現在の師崎中学校であれば納得されるのではないかなという思いが強いです。懇談会のときも、保護者意見交換会のときも結構そのような意見が、両方から出ておりました。各学校において改善を要すると考えられる点について、個人的に半島側の小中学校の校長にアンケート調査を依頼しまして、良い点と改善を要する点のご回答をいただきました。その結果、改善を要する点が、師崎小学校の方が多いというようなことで、場所については師崎中の方が良いのではないかとこのように考えましたが、実際に、中学校にの統合は少し早すぎる、難しいというようなご意見が多いものですから、中学校を令和5年以降にずらして、小学校については男女比のこともありますので、できるだけ早くということで、令和4年に統合。そうしますと師崎中学校には生徒がいますので同時にということは難しいというように考え、大井小学校については長寿命化の改修工事での対応は無理ということもありますので、師崎小学校に統合と。しかし、改善すべきことが多いですし、位置的にも師崎中学校がいいであろうと思います。将来的に中学校統合ということになりますと、町の中心である豊浜地区に新しい学校をつくり、そこに島も含めて南知多町中学校として新設したらどうかなというように考えています。ですから、師崎中学校の生徒が移りますので、そのときに中学校を小学校仕様に改修して、体育館等は新しいものですからそれはそのままいけると思います。そこへ師崎地区の小学校の児童が通うというような形でどうかなと考えていま</p>

発 言 者	発 言 内 容
石黒町長	<p>す。また、皆さんの望んでいるのが新しい学校であります。</p> <p>ここでは新設校で令和20年度とありましたけれども、私の思いとしてはできるだけ早い方がいいと思います。町制75周年ということで15年後になりますけれども、そういうときに記念として開校というようにしていただくといいところのように思っております。</p> <p>ということは、第4章の第1段階で、基本的に師崎小へ一旦は止むを得ず行き、中学校の準備ができ次第、改めて小学校移転について考えるという意見ですね。</p> <p>議論のポイントとしては、この基本計画（案）については説明会を行います。基本的に町民の皆様方にお示しする案です。そのポイントは第4章にあるのかと考えます。意見もそれに集中しておるわけですが、それでよろしいですか第3章までは事実のことが多いのでいいのではないかと思いますので、第3章まではおよそこの内容で町民の皆様方にお示ししていくということで、第4章にしばって今から議論を進めていきますが、よろしいですね。</p> <p>初めてですが、町長部局方からは総務部長、企画部長、建設経済部長も来ていただいています。建設経済部長は特に今回、意見の中にありました学校のいろいろな安全性、自然災害が主ですが、土砂災害等、津波浸水区域についても説明をします。基本的な考えを私が申します。南知多町が提案する場所、教育委員会の皆様方が今、検討してくださる統合の前に、今あるすべての小学校がハード面とソフト面は基本的に安全だと、より安全にしなければいけないけれども、危ない所は逃げる、絶対的にすべてが安全だということはどこにもないという前提です。その中でより安全なものを求めていかなければいけないし、どんな災害が起きても子どもの命を最優先に逃げる訓練もするというハードとソフトを併せて安全だということを前提に議論をすすめております。ですから、ここはより安全だということはあるかもしれませんが、基本的に安全であるということだけのご理解いただきたいと思っております。その中で個々の浸水区域はどうか、それから土砂災害警戒区域はどうか、また、資料としては液状化の図面もあります。その他にも様々な危険な状態ではないか、だからこうしていこうという図面がたくさんございます。それをすべて、ここで説明するわけにはまいりませんので津波浸水区域の考え方、土砂災害警戒区域の考え方を、少しだけ説明させていただきます。</p>
鈴木建設経済部長	<p>（大雨による土砂災害警戒区域について説明した。土砂災害対策はソフト対策とハード対策の両方で対策していくものである。土砂災害対策土砂災害のレッドゾーンについて、工事のしていない残斜面の対策工事を実施した師崎中学校のレッドゾーンが土砂法の再調査により指定から外れた例があるので、師崎小学校のレッドゾーンについても、今後、残斜面の工事要望をしていきたい、と説明した。）</p>

発 言 者	発 言 内 容
田中総務部長	<p>(地震のときの津波の浸水区域について説明した。南海トラフ地震による津波浸水である、津波浸水対策でもソフト対策とハード対策の両方で対策していくものである、と説明した。)</p>
石黒町長	<p>南知多町のすべての学校が、ソフトとハード対策で、一応の安全を担保しているということの考え方をご説明させていただきました。</p> <p>今から財政的なことについて、企画部長より学校統合をすすめていくのに基本的な財政としての公共施設の総合管理計画という視点から説明します。</p>
鈴木企画部長	<p>公共施設という面で、今後南知多町の施設は老朽化がみんなすすんでまいりまして、それぞれ建て替えなどの時期に来ている。これは南知多町だけに限ったことではなくて、全国的にそういった傾向があるのですけれども、その中で一つ、すべてを網羅した今そうした計画がない。来年度ぐらいから公共施設の再配置の計画をつくっていかうところですから、全体についてのお話はできないところですが、今ここで検討している小中学校の関係で、今の計画提案の実現性は全体的にどうなのかという評価を、お話をさせていただきたいなと思います。</p> <p>財政的には、先程、池戸委員さんの方から令和18年、町制75周年というところで中学校を新設したらどうかというような、お話がございましたが、そのときに、1中ということで、中学校を新設するのは、財政的にできるんですかというように言われた場合には、頑張ればできるのではないかというふうなお答えができるかなと思います。あとは、その時点において5小、小学校が5つであります、これをすべて新築にいずれはしなければいけない、いずれも老朽化がすすんでいて、あと数十年、20年くらいで築80年を迎えると、それがすべて新築でできるかという、これは少し財政的に厳しいという感覚でございます。なので、財政的には「1中1小」が望ましいと申し上げたいですけれども、財政的な面からだけではなく教育的な見地から、段階的に進んでいくということですので、そのようなことになるのかなと思います。それで、1中をつくるにあたっていくらかかるのだということでもあります。試算では今つくるのであれば30億円、将来15年後だと、もうちょっと生徒の総数が減るので、学級数が若干減るだろうところから試算しますと20数億円だということになります。それで、仮に20億円だとすると、いくらどういってお金を財源にして建てるのかということになりますと、国の補助金と地方債と言う借金をして、後その借金もできなくて一般財源をもって費用を支払わなければいけない、というものであります。その中で、国の補助とか、お金を借りるのであれば、その部分についてはその手立てができるものですからいいのです。それに加えて、一般財源の部分がどれくらいか</p>



発 言 者	発 言 内 容
石黒町長	<p>           ということを試算してみたら、だいたい10億円のうち2億円くらいはキャッシュがいる。これは国の補助金だいたい1割と想定したものですから、1割であつたり、ときによって3割ももらえるというようにときもあるものですから、これはあくまで試算なのです。10億円で2億円、20億円では4億円となるということです。よって、建て替えまでに、20億円であれば4億円の積立てがしているのではないかなというふうなことになる、それが15年後までにできるかどうか、それは頑張るといふことになります。あと、借入をしなければいけない。借入をするといふことは、その後、返済をしていくので、14億円くらい借入になると、これを15年間とか20年間で返していくと、1年当たり5千万円ほどで返していくといふことになりまして、それを公債費と言いますが、それくらい増加しても耐えられるであろうかといふようなことを考えなければいけません。現在、公債費の方が年間6億円くらいありますが、実は令和2年度は給食センター建設や保育所の統合、総合体育館の天井工事などがありまして、今年だけで13億5千万円くらいの借入が発生している。今後、それ以外に給食センターの残りの工事部分もあるので借入が増えてくるものですから、そういう中において、試算上はそういった工事を見込めるのが3年先くらいまでしか見込めないです。それ以降の工事がどう計画されているのかは計算できない。借金は令和27年度にゼロとしているが、実際は、毎年毎年、いろんな工事があつて、いろんなことがあつて、借入を繰り返すものですから実際は足りないといふのは普通でありまして、将来、学校を建てるときには借入をして返済できる余地を残していくといふことが重要になってくる。といふことはそれまでにいろいろな工事が必要であっても、なるべく減額をするだとか、どうしてもいるものでなければ止めておくとか、そういう選択をしながら借入をして返済できる余地を残すといふような努力をしながら財政計画を立てていけば、不可能ではない。それで、小学校の方が残っていますので、それが上乘せになってくるといふことを考えますとさらに厳しいといふことになります。なお、ここ2、3年の財政状況につきましては、実は極めて厳しい状況に現在ありまして、この3年間は実質単年度収支、歳出と歳入のバランスといふものが、歳出が多くて赤字になっている。この2年くらい、4億円くらい、3億何千万円という赤字が出ていまして、それを財政調整基金という貯金で補填している。貯金は今、8億4千万円くらいしかないものですから、後1、2年するともう予算も立てれないといふ状況に、立ち至っています。すぐに学校をつくるのでお金を借りるといふことは今の時点では難しい。今現在の財政規模をぎゅっと締めるといふ、苦しい時期にあるものですから、このこともご説明させていただきたいと思ひます。         </p> <p>           しかし、この第4章で示された、小学校については皆様のご理解を得られるのであれば、師崎小学校といふことで、最低限の改修で済むといふことで選択をい         </p>

発 言 者	発 言 内 容
日比委員	<p>           いただきました。今から説明をしながら理解いただけるように努力していくわけですが、ここに、中学校に、第2段階で令和20年度までに新校舎設置の準備をすると、こういう文言がありますが、これに対して議論をいただきたいなと思います。単的に言いますと、令和20年という、建物として利用できる限度のギリギリになっているということです。だから20年には建て直さなければならないのです。使えないのですから。そうすると、統合もしない、何もしなかったら、5つの中学校をほとんど、毎年毎年、建て直さなければいけないということが前提になります。ですから、「この統合中学校校舎の状況を検証し」というのは、この前段で、「町立中学校を1校にするための統合の検討をすすめる」ということを前提として記載されております。第1段階でも、中学校ではできる限り早い時期に統合するとしています。これについては教育委員会としては、統合を含めてそれが子どもたちの環境はどうしても、そうして使う方がいいという前提で、町長部局の方に統合を前提として学校をつくりなさいというように理解するのか、それができなかつたら5つをつくっていくという意味はないと考えていいですか。教育委員会としては、これだけ子どもが減ってきたら一つにするという方向を出しているの、それに答えられるように、町の方は財政というものを整えていく必要があると、というような文言で捉えるということではないのでしょうか。         </p> <p>           もちろん、5校の中学校を残してほしいという感じではなくて、11ページに南知多町の学校区別・年少者人口というのがありますが、今13歳というのは現中1ということですが、遡っていくと10年後というのは今の3歳の子どもが中1になることですよ。その時点で3歳の子たちというのはすでに5つの地区を併せて78人ということになっている。それが10年後ですが、今話し合われているのは15年後で、もっと先の話です。そうすると先の見通しがそれほど無さそうな状況のところには人は来ないだろうし、子どももそれなりにしか生まれまいだろう。ここ数年も人口流出しているわけで、いっぱいよそへ行っているものがどんどん拍車がかかるのだろうとすると、大変なことになっていくのではないかと思うのです。簡単に学校を建てられることではないけれども、第2段階に、令和20年ではなくて、私はもう少し前にしていただきたい。もう少し前で太字にして、これはちゃんと謳った方が、今後に繋がるのではないかと思う。これでは取りあえず書いてあるだけみたいに雰囲気なので、何か普通の、たくさんある中の一つの情報になってしまって、何かあまり効果がないという気がするのです。財政の話ですが、町の予算だけではなくて、もっと違う手立てを少し考えてもいいのではないかなと思う。クラウドファンディングとか寄附を募る方法もある。そういうことも、みんなの南知多町が衰えないために、ただ、新しく建てればよいということではなくて、坂口委員さんが言われたように、魅力のある南知多、         </p>

発 言 者	発 言 内 容
石黒町長	<p>南知多はちょっとおもしろいよねと言われるような、特色のある魅力のある学校をつくるというコンセプトがあれば、もしかすると、よその人たちが応援してくれる可能性はゼロとは思えない。資金を全額集めるわけではないけれども、そういうことをしてもいいのではないかなと思います。とにかく、この漠然とした感じではなく、ちゃんと年を謳っていいのではないかと思います。年が遅すぎるように感じます。</p> <p>「令和 20 年度までに新校舎設置の準備をする。」という文言をもうちょっと具体的にという意見。これは年が遅すぎるというよりか、期限です。ここまでしか建物は持ちません、という考え方です。これまで、放置しておくことはしないので、それまでに延命措置、長寿化事業をやれば、そこで1中5小です。意見交換会で教育委員会が示されたのは18億円で、そのお金を使ってしますわけです、20年持たせるために。今、財政の方で検証しているのはそのバランスなわけです。だけれども、今回、町民の皆様方にこういう意見をたくさん聞きながら基本計画(案)をお示しするわけです。その示す内容としましてこの表現よりも、日比委員の言われた、20年までにではなくて、具体的な案としまして例えば令和10年でやるとか言ったとしても、財政の方は、「はい、できます」と答えることができない。そのことで、この表現で、財政の方も、今、教育委員会の方は20年では遅すぎるというか、もっともっと具体的に書くべきだという意見があるわけですがけれども、それに対する何か皆さんの意見はありませんか。</p>
池戸委員	<p>私の気持ちとしては、小学校は各地区に残したいなというように思います。中学校は、島はすぐには難しいというようには思いますが、半島側の3校についてはできるだけ早く、統合し1か所にしたい、そうすると2校少なるるので、統合校に集中してお金をかけることができるのかなと思います。後は、一般財源2割ということでおっしゃいましたけれども、ここに避難所としての機能を備えた体育館とか、そういったものにすると別の補助金というのはつかないですか。学校としてというのではなくて。</p>
田中総務部長	<p>あり得ると思います。ただし、そのための設備として例えば非常用発電設備だとか、そういったものを余分につけることになると思います。その辺は補助率との兼ね合いとなると思います。実際に今、総合体育館がそういったようなことをやっているところです。</p>
池戸委員	<p>何か、換気とか、そういうような設備を備えたものにすれば、何か補助金も出るような気はします。</p>

発 言 者	発 言 内 容
田中総務部長	<p>そのときにどういった補助メニューがあるかどうかにもよると思います。例えば緊急防災事業だとか、そういったようなものが今でもあるわけですがけれども、それに類するようなものがあれば、何年先になるかわかりませんがその時点であればやれるものはあると思います。</p>
池戸委員	<p>将来的に、島の子どもたちも一緒になると、何か島に帰れないときにその子たちが宿泊できるような施設も含めて、そういうものがあればいいなと思います。</p>
田中総務部長	<p>「令和 20 年度までに新校舎設置の準備をする」という、この文言なのですがけれども、日比委員もおっしゃいましたが、これを読まれたときに令和 20 年度までに統合するというふうに読まれたのではないかなと思います。そうじゃないですか。</p>
日比委員	<p>そうではなくて、20 年までに準備をするというか、曖昧なところがあるということですよ。</p>
田中総務部長	<p>私の読み取りではその前のページのところに、町内の中学校をできる限り早い時期に統合するという記述がございますので、まずは統合する。こういう方針を持ったのだなというように理解をしているのですが、その上で、一校に統合するというふうになれば、校舎の状況を検証して、実際その校舎は令和 20 年度までそのまま使えませんか、それまでにそれを新築するか、あるいはそれを延命化するか、あるいは新しい場所に新設するか、こういったようなことを検討するあるいは準備をするというように捉えておるのです。ですのでどうしても、私たちも見ていて 20 年先まで統合を待つということは、これは今の子ども数の状況などからしても、待てない、遅すぎるのではないかなという印象は受けました。</p>
日比委員	<p>意見交換会などに出席される保護者の皆さんも、自分の子どもが絡む話になったときに、初めて現実味を帯びて考えられることが多い。今の人たちは、具体的にもう少し情報がわかっていると、心づもりをして、それに向けてどうなっていくかということに、ずっと興味をもって考えてます。その話題が出たときに、うちの子は関係あるかどうか考える見方をする人が増えると思うのです。何となく漠然としていると、うちの子は違うと、楽観的に考えたりとか、あまり真剣に考えないのではないかなというように思って、もう少し具体的にした方がいいかなと思いました。</p> <p>なるべくできるだけ早く、本当にたくさんの子どもになるよう、1 中になればいいなと思う。その大きな理由の一つは、子ども数の数やクラスの数が違うと配属される先生の数も違ってきます。例えば今、内海中学校の音楽は非常勤講師だし、</p>

発 言 者	発 言 内 容
池戸委員	<p>正規の音楽の先生は師崎中だけなのです。そうすると、音楽の授業については非常勤講師が来てくれるけれども、合唱コンクールの相談をしたくともその先生はいない。そういうことがいろいろな学校にあって、その授業の時間に先生が来てくれるけれども、その授業の時間以外のところではない。やはり学校が小さくてクラスが1つしかないとそういうことがあり、音楽だけではなく他の教科にしてもそうなので、たくさん子どもが集まると子どもの教育としては絶対にレベルが上がると思います。子どもが少ないといいかと言ったら、そうばかりではないと思うので、非常勤講師ではない先生に教えられる環境をつくってあげるのが大事だと思います。</p> <p>令和20年は遠いので近ければ数字は出てもいいと思うのですけれども、逆に考え、これを取ってしまって、「統合中学校校舎の状況を検証し、新校舎設置の準備をする。」でどうでしょうか。先程も、頑張れば可能とおっしゃっていたので、何とか頑張ってください、いつになるかわからないが、でもそれに向って新校舎設置の準備をするということではいかがでしょうか。令和20年に拘らずに、できるだけ努力していただいて、後は町にお金が入るような施策と考えていただくというのはいかがでしょうか。</p> <p>例えば、何万人も観光客がくるところで、町経営で事業をやり、そのお金は町に入るとかは考えられないか。</p>
石黒町長	<p>ノンリスクでないといけないということが前提にありますので、私たちの手法を、議員さんたちが理解してもらって提供することはできても、商売をやっていいのかどうかという問題になります。少なくとも間違えないのはどれだけ出費を抑えられるかということです、町民の皆さんが子どもたちのために何を我慢して、どう努力するかしかなかく、税収はこれから増えるということは基本的に厳しいと思っております。建設について、どうしても学校施設というものは最優先で我々が提供しなければいけないという中で、苦しんでいるわけでございまして、これについては精一杯努力をするという、企画部長の言葉で象徴されており、できるだけ頑張るけれども、そこまでに財政は貯金を始めなければいけないということですから、それに対して借金が多くて、なおかつ3年間、赤字が続いている財政の中から、どこで転換していくのかと、その時の転換の一番早いのは何を皆さんに我慢してもらえるかということからしか、今のところ言いようがないです。常に産業を振興して、税収を上げるという努力をするのは決まっているわけでありまして、間違いなく何年後に成功するとは言えないから、間違いなくやらなければいけないことは、どうしてもコツコツやっていかなければいけないと。そのコツコツの中に、学校が優先的にあるということについては私たちも認識しているわけですが。その前に安全安心はあります。町民の命を守るということが</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局 (山下教育部長)	<p>ありますけれども、建物について、公共施設に対しての優先権は学校にあるだろうというふうには思っております。</p> <p>それで、今回、具体的に「令和 20 年度」というのを取ってですね、例えば、学校統合を前提に新校舎設置とかに、言葉を今から考えながら、町民の皆様にお示しする案として仕上げていきたいと思うのですけれども、今まで、教育部長、意見を聴いていて、どこにどういうふうに修正を加えたらいいか、どうですか。</p> <p>意見を今までお聴きしたところでありますけれども、今回、具体的ではない表現になっています。年度を決めてやった方がいいというようなことを坂口委員さんもおっしゃっていたのですが、それがまだわからないところなので、実はこの基本計画の中では「統合を中学校は進めていきます」ということを出したのです。いつに何をしてくだとか、何ができるだとかというところについてはこれから、実施計画というかもっと具体的なものを出していきます。統合に○か×か、篠島がくるだとか、日間賀島が一緒になるとか、そういうこともある程度示さないと、一緒になれるかどうかはわからないので、これからアンケートをしていこうというところなんです。敢えて具体的ではない、はっきり書いていないところなんです。その意味で言うと、今、池戸委員のおっしゃったような、「令和 20 年度まで」というところは取ってもいいと思います。</p>
田中総務部長	<p>坂口委員から統合の年度を明確にした方がよいという意見があったことを聞いているのですが、令和 20 年度というのは先程言ったように、統合の年度ではないものですから、あくまで施設整備の年度ですので、あまり統合の年度を示した目安にならないような気がするのです。これは統合年度についてはなるべく早い時期にやるという、この記述の方を活かした方がいいと、令和 20 年度がない方が誤解がないかなと思います。</p>
石黒町長	<p>意見交換会の意見をずっと聴いていまして、やはり新設を考えなければいけないのかなという思いは強くなりました。それをやるなら、島の人たちも一緒になって、一つの南知多町という意識を持つためにも一つの中学校にして、今だとまだ 60 年経っても 3 つの町と 2 つの村がバラバラだし、子どもがこれだけ少なくなってきた、一つになって固まって、南知多町というのを、南知多町の町民だという意識をするためにも必要かなというのを感じながら、ずっと意見交換会を聴いておりました。</p> <p>企画部長が言うように、頑張ればできる方法と年度を、今、部長が言った実施計画をつくるということですので、その中で町民の理解が得られるように考えてもらいたいですね。今、ここに、何年に新しい校舎をつくりますということは、無理です。それで、逆に言えば、何年につくるから篠島も日間賀島も豊浜も内海</p>

発 言 者	発 言 内 容
	も師崎も、みんな一つになるのだよと言い切ってしまうというくらいの覚悟で持っていないと一つになれるわけないのです。そこら辺を含めまして議論を深めていきたいと思いますが、案の段階では、今日の議論の中から具体的に「令和20年度」は取ると、そんな中でどんな案にするかを何か案として出せますか。
事務局 (山下教育部長)	単純に、この「令和20年度までに」というところを取るだけでは、誤解を生むでしょうか。
石黒町長	その掛りとしては、第1段階の「できる限り早い時期に統合する。」いうのがあってのことですね。一つの中学校にということですね。
事務局 (山下教育部長)	段階的な統合だと新設は無理なので、1中に統合するための新設というのはあり得るかなと思います。
田中総務部長	町全体で1中学校とする、そのための統合をすすめるということで、その統合中学校というのは1中にするというのが大前提で、やはり残った学校だけ古いというのもちょっとどうかなと思います。
日比委員	ただ、「町立中学校を1校にするために…」というところから、…新設校舎設置の準備をする。」というところまで、太字で書いて、「令和20年度までに」を削ってはどうかでしょうか。
池戸委員	途中の段階で、例えば豊浜中学校が内海中学校に行ってということがあっても最終的には新しい学校へ移るんだということで納得してくれるんじゃないかなという気がしますので、新設を目標に努力していただこうと思います。
石黒町長	それでは、「令和20年度までに」を取るとということで、表現としては「町立中学校を1校にするために…」というところから、…新設校舎設置の準備をする。」というところまで、太字で書くということです。その他何かありますか。
坂口委員	今、南知多町全域がバラバラということで、町内一つで何かイベントとかお祭りのようなことを企画してみんなを一つにすることもやっていくのはどうか。
石黒町長	教育長が、できるだけ常々いろんな総合に向っての学校の交流を深めていく、ということは発言しました。子どもたちが一つになるにあたってどれだけ時間がかかるかわかりませんが、可能な限り交流を深めていくという中で、盛り上がっ

発 言 者	発 言 内 容
折戸委員	<p>て全小中学校が一つのイベントをやるということは教育委員会で提示していただければ、財政的な面でこちらが検討するとかというのはあるかもしれませんが、こちらが町内の一つのお祭りをみんなでやるかというようなことは別のスタンスで提案していただきたいと思います。この総合教育会議では、とにかく南知多町を一つにしていこうという流れはあるということだけを知っておいていただきたい。</p> <p>令和5年度以降という表現で、例えばその時点で3中、その先も検討をすすめていくということで、先日、町長にお越しいただいた意見交換会でも中々、篠島の方では令和4年ないし5年までの、その辺りまでの話しか、まだ皆さんに理解していただけない。その時点での、自分たちは1中にするかが賛成だ、反対だということの話で、もっと先に、篠島の人口が変わってきたときにどのような学校があるべきなのかというような議論が中々進まないような状況になっている。教育長にも今後またアンケートを含めて、地域の方々に説明、意見をお聴きするご協力をお願いさせていただきましたので、その令和20年とは言いませんけれども、そこに向けての、果たしてどうあるべきかということについて話しができればいいかなと私は思っています。基本計画案はこの内容にさせていただければいいかなと思っています。</p>
吉原委員	<p>皆さんが言われているように、新設校を建てて、魅力のある南知多町になればいいなと思います。いろいろ課題もたくさんあると思いますけれども、これからも皆さんの意見を聴いて、考えて行ければいいなと思います。</p>
高橋教育長	<p>今日、本当にいろいろな意見を聴かせていただいて、町が一つになるために統合がいい機会になればいいなと思っています。先程、第1段階でも出ましたが、小学校は令和4年、子どもたちに少しでも早くいい環境をつくってあげたいと思いますし、中学校については1年以上遅れてしまうかもしれませんが、令和5年以降、これもできるだけいろいろな地区の子どもと出会える環境を準備してあげたいと思っています。今日の資料に載っていませんが、「学校の在り方」という以前に教育委員会が出しているものがありますので、1中5小が最終目標として、今後も進めていきたいと思っています。その中で、教育委員会はソフトの面で、子どもたちにより良い環境を準備していきたいと思っていますので、町長部局の方はハードの面でいろいろな部分でご協力いただきたいというふうに思います。</p>
石黒町長	<p>最初に、教育部長が説明した「1中5小」というのは、できるだけ各地区に小学校を残そうという願いですね。この基本計画(案)の中にはそういうことも取っ払ってあるということについては、最初、教育部長が言ったのはそういう意味</p>



発 言 者	発 言 内 容
事務局 (山下教育部長)	<p>ですね。</p> <p>5小をなるべく残していきたいのですが、その先の統合もあり得るということです。</p>
石黒町長	<p>それから11ページを見ていただいて、大井と師崎小の10年後とかの児童の数字を見ますと、その子たちのために新しい校舎をつくるということは、現実的なのかということは町長部局としては言わざるを得ないです。例えば69人のために何億円もするような学校をつくるのか、師崎と一緒にしてもらわなければならないという場合もある。私たち大人が自分たちの地区に小学校を残すぞと、それために何がやれるかということのを常に目標としてやっていかなければいかんと思うけれども、現実的にそれまでの努力をした結果、どうしてもそれができないとかいうことも併せて今回の案には、それはフリーにしたということです。</p>
事務局 (山下教育部長)	<p>はい、そうです。</p>
石黒町長	<p>財政関係の部長が言ったように、町長部局の方の勝手な言い方でいうと、人数だけで言うと「1中1小」ですよ。だけど、教育委員会が、できるだけ教育的な配慮と地域のことを考えて、今こういう状態で行こうということに関してはうちは努力するという答えでご理解いただきたいと思います。</p> <p>具体的には、第4章の第2段階のところの「令和20年度までに」を削除して町民の皆さんに一度説明会をするということで、進めていっていいですか。</p> <p>そういう形で、町民の皆さんに意見を聴くということの原案として今回、南知多町立小中学校適正規模・適正配置基本計画(案)のまま、日付を今日の日付を入れて、「令和20年度までに」を削除して示すということです。</p> <p>この案で、住民説明会に臨むということで賛成の方の挙手を求めます。</p> <p>(挙手全員)</p>
石黒町長	<p>それでは、これでいきますのでよろしくお願いします。</p> <p>進行を教育部長にお返しします。</p>
事務局 (山下教育部長)	<p>それでは長い時間に渡りましてご協議いただきましてありがとうございます。以上を持ちまして、令和2年度の第1回総合教育会議を閉会させていただきます。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	ます。 どうもありがとうございました。本日はお疲れ様でした。